

## ごみ処理の現状について

### 1 本市のごみ排出量とリサイクル率の推移

#### (1) ごみ排出量とリサイクル率の推移

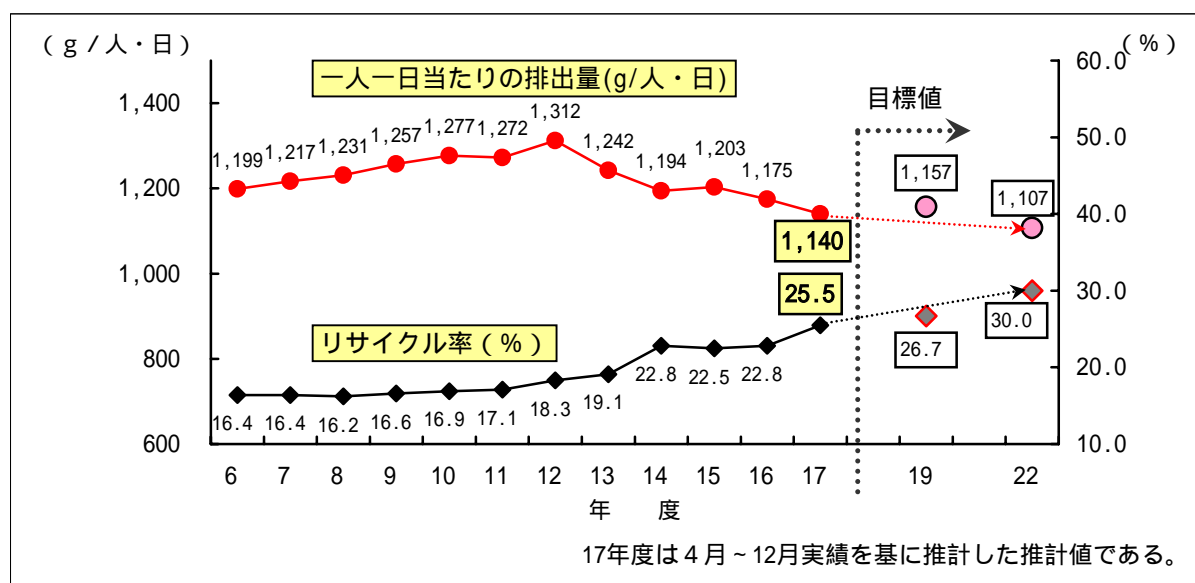
(単位：トン)

区分	15年度	16年度	17年度見込	前年度比
生活ごみ	263,138	257,781	260,530	+1.1%
家庭ごみ	224,246	220,303	222,932	+1.2%
粗大ごみ	2,002	1,829	1,854	+1.4%
缶・びん・ペットボトル等	21,846	20,521	20,636	+0.6%
プラスチック製容器包装	13,595	13,652	13,487	1.2%
その他(臨時ごみ他)	1,449	1,476	1,621	+9.8%
事業ごみ	186,051	181,993	165,956	8.8%
許可業者収集量	135,891	132,159	123,963	6.2%
自己搬入量	50,160	49,834	41,993	15.7%
ごみ総量	449,189	439,774	426,486	3.0%
原単位(g/人・日)	1,203	1,175	1,140	35g
リサイクル総量	119,374	119,101	133,286	+11.9%
行政資源化量	38,441	36,008	36,704	+1.9%
民間リサイクル量	80,933	83,093	96,582	+16.2%
排出総量	530,122	522,867	523,068	±0.0%
リサイクル率(%)	22.5%	22.8%	25.5%	+2.7ポイント

17年度は平成17年4月～平成17年12月実績を基に推計した推計値である。

増加率：17年度排出見込量 ÷ 16年度排出量

#### (2) 市民一人一日当たりのごみ排出量とリサイクル率の推移



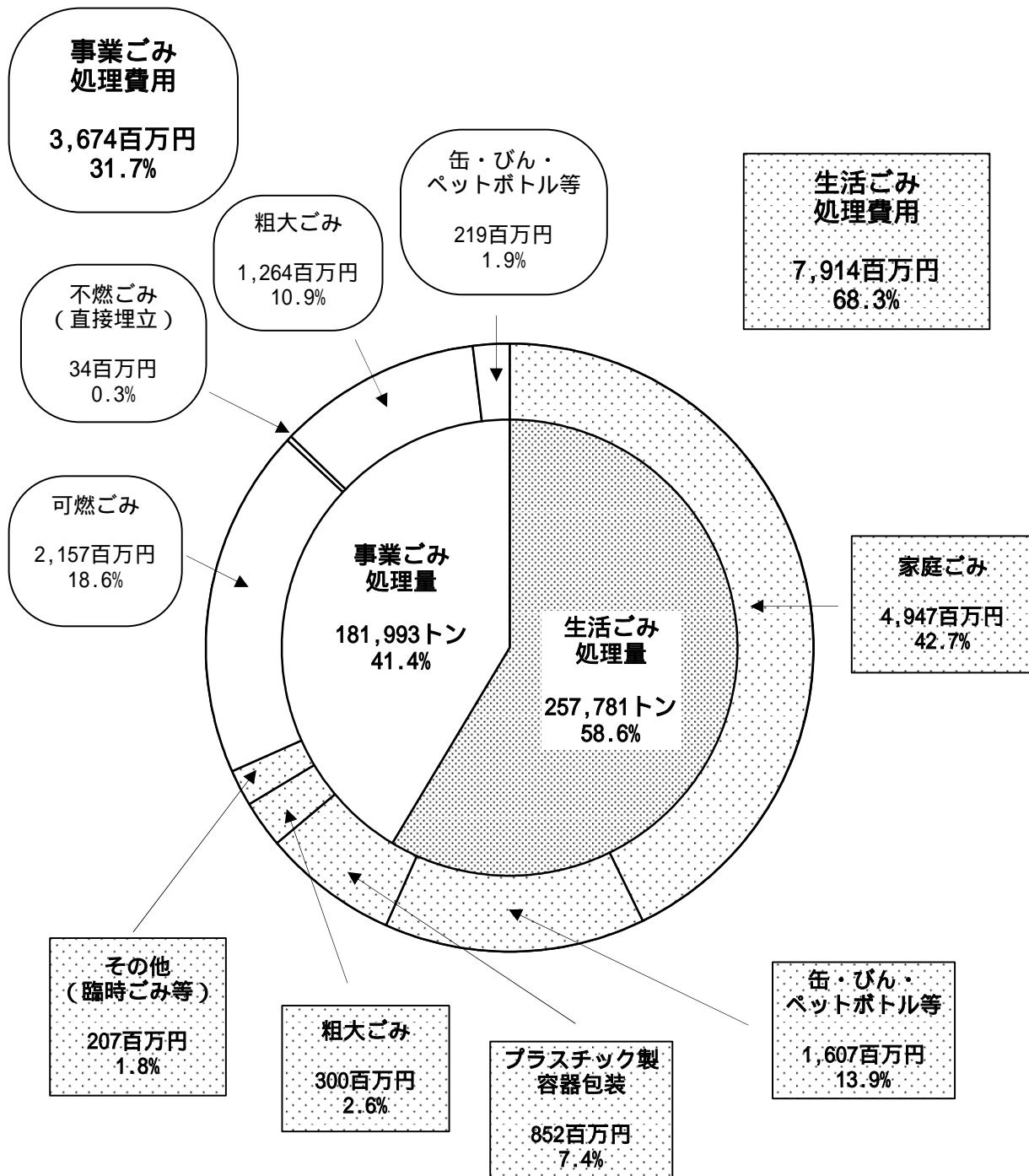
## 2 本市のごみ処理費用

### (1) ごみ処理原価等（平成16年度実績）

区分	ごみ処理 手数料	手数料 収入 (千円)	総原価 (千円)	処理量 (トン)	1t当たり 処理原価 (円)	手数料収入を 除いた 1t当たり 処理原価 (円)	
無料処理分		0	7,406,293 [63.9%]	254,476 [57.9%]	29,104 -	29,104 -	
有料処理分		1,911,060	4,181,265 [36.1%]	185,298 [42.1%]	22,565 -	12,252 -	
合計		1,911,060	11,587,558	439,774	26,349	22,003	
区分別 内訳							
生活ごみ	家庭ごみ	無料	0 [0.0%]	4,946,694 [42.7%]	220,303 [50.1%]	22,454 -	22,454 -
	缶・びん・ ペットボトル等		0 [0.0%]	1,607,266 [13.9%]	20,521 [4.7%]	78,323 -	78,323 -
	プラスチック製 容器包装		0 [0.0%]	852,333 [7.4%]	13,652 [3.1%]	62,433 -	62,433 -
	無料分 計		0 [0.0%]	7,406,293 [63.9%]	254,476 [57.9%]	29,104 -	29,104 -
	粗大ごみ	品目別 (400～3,000円)	74,874 [3.9%]	299,902 [2.6%]	1,829 [0.4%]	163,970 -	123,033 -
	その他 (臨時ごみ等)	10kgごと260円 +1,000円/回	24,141 [1.3%]	207,466 [1.8%]	1,476 [0.3%]	140,560 -	124,204 -
	有料分 計		99,015 [5.2%]	507,368 [4.4%]	3,305 [0.8%]	153,515 -	123,556 -
生活ごみ 計		99,015 [5.2%]	7,913,661 [68.3%]	257,781 [58.6%]	30,699 -	30,315 -	
事業ごみ	可燃ごみ	100kgごと 1,000円	1,365,526 [71.5%]	2,156,580 [18.6%]	134,847 [30.7%]	15,993 -	5,866 -
	不燃ごみ (直接埋立)	100kgごと 1,000円	40,331 [2.1%]	33,711 [0.3%]	4,018 [0.9%]	8,390 -	-1,648 -
	粗大ごみ	100kgごと 1,000円	402,412 [21.1%]	1,264,326 [10.9%]	37,754 [8.6%]	33,489 -	22,830 -
	缶・びん・ ペットボトル等	100kgごと 300円	3,776 [0.2%]	219,280 [1.9%]	5,374 [1.2%]	40,804 -	40,101 -
	事業ごみ 計		1,812,045 [94.8%]	3,673,897 [31.7%]	181,993 [41.4%]	20,187 -	10,230 -
総計		1,911,060	11,587,558	439,774	26,349	22,003	

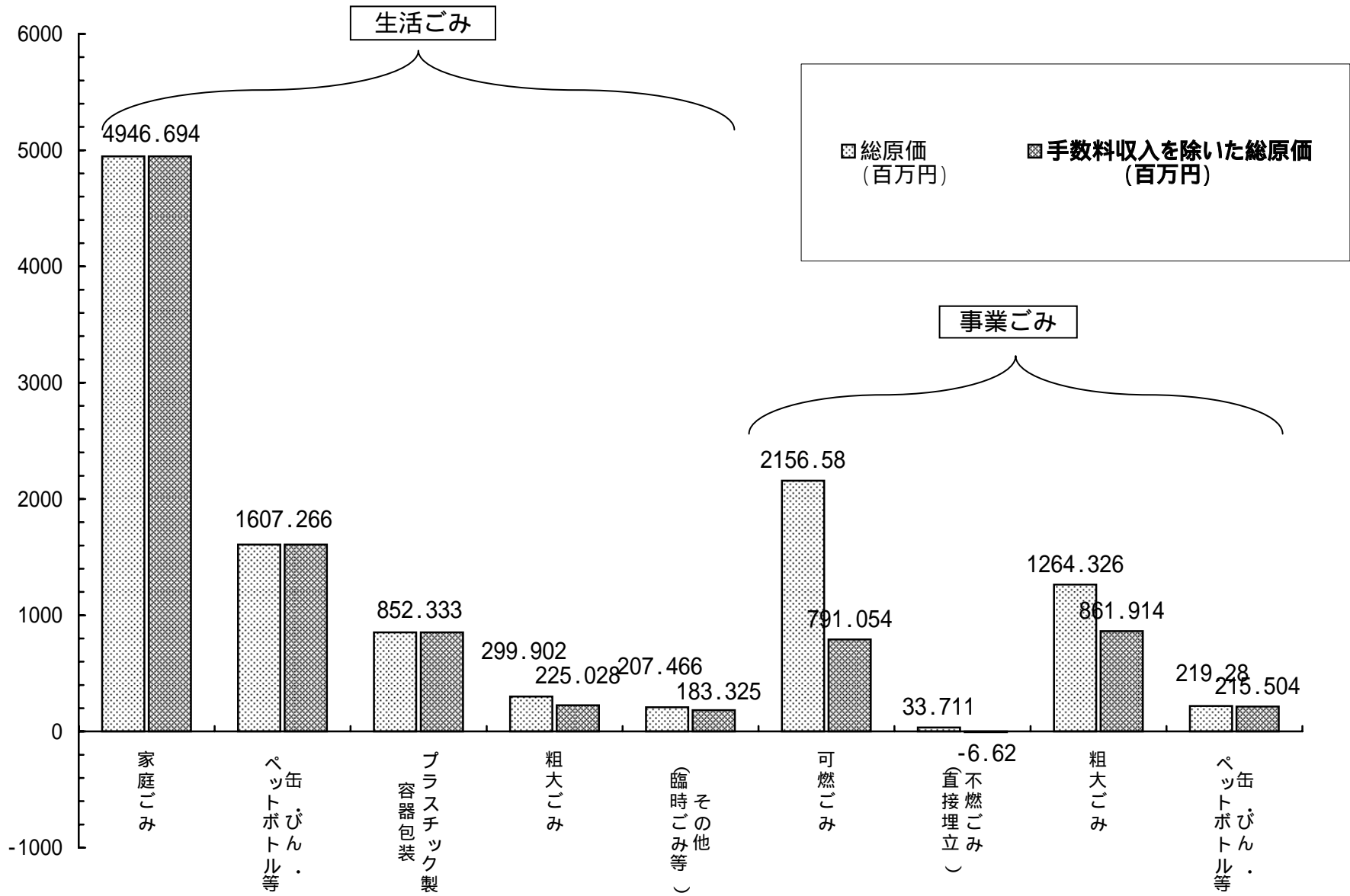
手数料収入のほか、缶・びん・ペットボトルの選別品売り払いにより約2億円の収益を得ている。  
平成17年度は松森工場の稼働等により、総原価が約9億円増加する見込みである。  
四捨五入の都合により合計が合わない場合がある。

(2) ごみ処理量及びごみ処理費用の構成比（平成16年度実績）

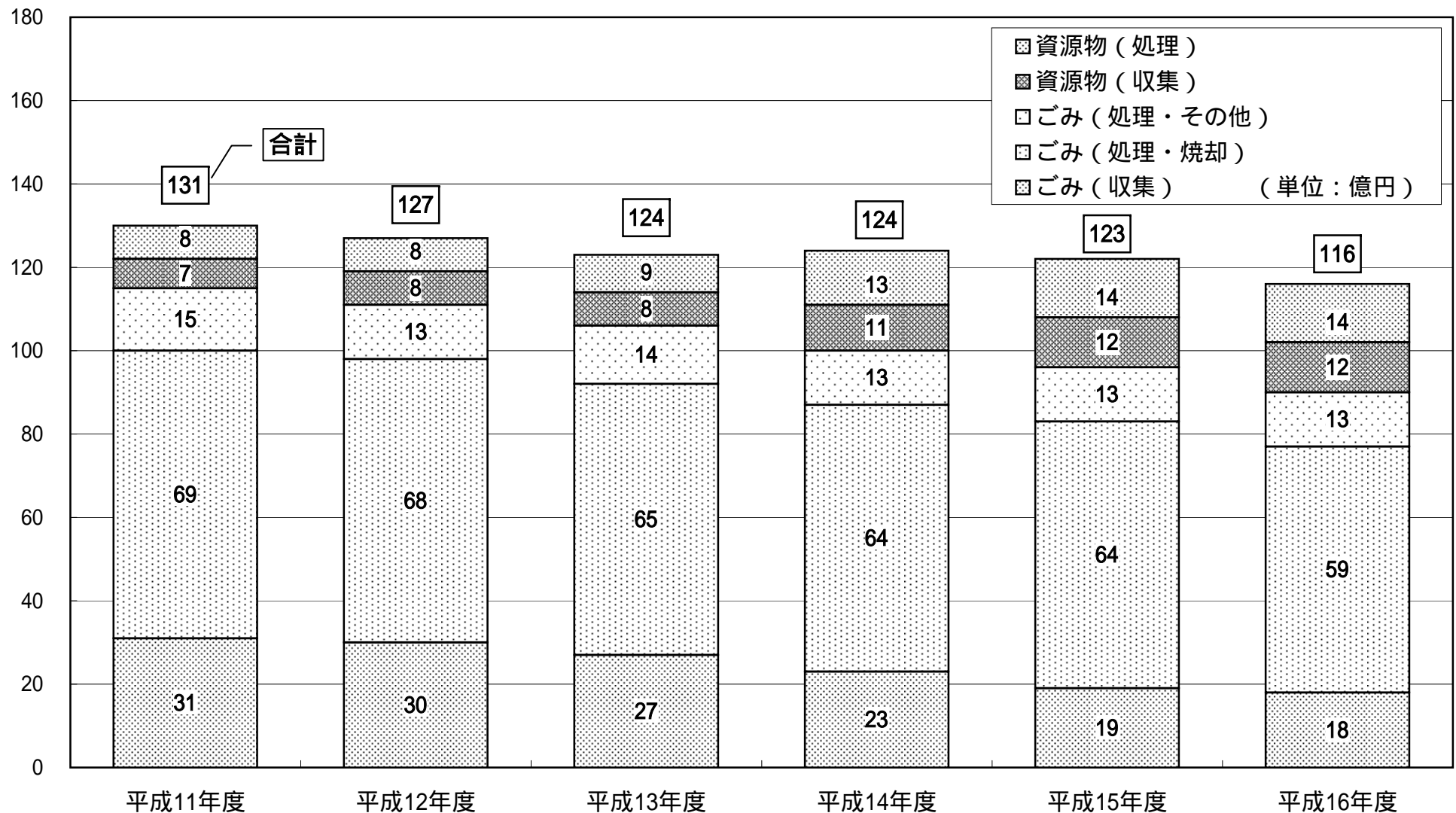


四捨五入の都合により合計が合わない場合がある。

(3) 区分別総原価の比較



(4) ごみ処理費用の推移（平成11年度～平成16年度）



平成11年度から家庭ごみ収集の民間委託を段階的に実施（平成17年度に完了）  
 平成14年度からプラスチック製容器包装の分別収集を全市で開始  
 四捨五入の都合により合計が合わない場合がある

### 3 全国の家庭ごみ等有料化の実施状況

有料化実施市町村数

	総数	有料化数	実施率(%)
市	776	328	42.3
町	1,203	668	55.5
村	307	130	42.3
合計	2,286	1,126	49.3

出展：「月刊廃棄物」平成18年1月号 「最新・家庭ごみ有料化事情」  
(東洋大学経済学部教授 山谷 修作)

市については、平成17年10月、町村については平成17年3～11月時点。

原則として、可燃ごみ用大袋1袋当たり15円以上の販売価格を設定している自治体を「有料化実施」としている。

4 他都市における家庭ごみ等有料化の導入事例

	市名 および 実施時期 (年度)		制度の概要			人口 (H17.10.1)
			有料化の対象	資源ごみの区分	価格等	
政令市	京都市	18	家庭ごみ 資源ごみ	<缶・びん・ペットボトル> <プラ製容器包装>	(家庭ごみ用) 45 袋 50円/枚 30 袋 30円/枚 15 袋 15円/枚 5 袋 5円/枚 (資源ごみ用) 45 袋 22円/枚 30 袋 15円/枚 20 袋 10円/枚	1,474,764
	北九州市	10	家庭ごみ 資源ごみ	<缶・びん・ペットボトル> <プラ製容器包装>(19年度実施予定)	(家庭ごみ用) 45 袋 50円/枚 30 袋 33円/枚 20 袋 22円/枚 (資源ごみ用) 25 袋 12円/枚	993,483
	福岡市	17	可燃ごみ・不燃ごみ 資源ごみ	<びん・ペットボトル> 缶は不燃ごみ, 収集後選別 プラ製容器包装は分別していない。	(可燃・不燃ごみ用) 45 袋 45円/枚 30 袋 30円/枚 15 袋 15円/枚(可燃のみ) (資源ごみ用) 45 袋 22円/枚 30 袋 15円/枚	1,400,621
中核市 ・ 県庁 所在市	函館市	14	可燃ごみ・不燃ごみ	缶・びん・ペットボトル, プラ製容器包装は無料	40 袋 80円/枚	294,212
	長野市	8	可燃ごみ・不燃ごみ 資源ごみ	<プラ製容器包装> 缶, びん, ペットボトルは無料	<一定量以下無料制> 30 袋 無料(可燃ごみ用・不燃ごみ用・資源ごみ用, 年間合計200枚まで) 30円/枚(超過分)	383,298
	下関市	15	可燃ごみ・不燃ごみ 資源ごみ	<缶・びん> <ペットボトル> <プラ製容器包装>	(可燃ごみ用) 45 袋 50円/枚 (資源ごみ用) 45 袋 20円/枚 不燃ごみは透明袋 1 袋につき100円の納付券貼付	290,693
	高松市	16	可燃ごみ・不燃ごみ	缶・びん・ペットボトル, プラ製容器包装は無料	40 袋 40円/枚	343,310
	佐賀市	8	可燃ごみ・不燃ごみ 資源ごみ	<缶・びん> <ペットボトル> プラ製容器包装は分別していない。	(可燃ごみ) 40 袋 40円/枚 (不燃ごみ) 30 袋 25円/枚 (資源ごみ) 30 袋 20円/枚	206,973
	宮崎市	14	可燃ごみ・不燃ごみ	缶・びん, ペットボトル, プラ製容器包装は無料	40 袋 40円/枚	311,377
	那覇市	14	可燃ごみ・不燃ごみ	缶, びん, ペットボトルは無料 プラ製容器包装は分別していない。	45 袋 30円/枚	312,308
県内 市町村	登米市	9	可燃ごみ・不燃ごみ	缶, びん, ペットボトルは無料 プラ製容器包装は分別していない。	40 袋 50円/1枚	89,302